

大船渡水産振興センター「復興板」

令和2年8月6日発行 第88号

1 漁港関係施設の災害復旧工事 進捗状況

令和2年7月31日現在の管内県営漁港関係施設災害復旧工事の進捗率は、89%となっています。

	災害査定 (R1再調査決定額)		発注		進捗状況		完成
	件数	本工事費 (千円)	件数	発注額 (千円)	出来高 (千円)	率 (%)	件数
漁港	242	33,037,441	240	32,639,011	32,639,011	99	236
漁港海岸	11	33,784,333	11	29,587,607	26,585,646	79	9
漁場	2	498,880	2	498,880	498,880	100	2
合計	255	67,320,654	253	62,725,499	59,723,537	89	247



さっちゃんNEWS part1

<ヒラメ種苗の初出荷・放流が行われました！>

7月2日に今年度初のヒラメ種苗の出荷が行われ、陸前高田市内の港で放流されました。

出荷されたヒラメは、大船渡市末崎町門之浜にある（一社）岩手県栽培漁業協会生まれ、5cm程の大きさまで育てられたものです。

出荷の際には、トラックの荷台に設置された水槽に移された後、速やかに放流場所に運ばれ、到着次第、スロープを使って放流されました。

気仙管内では8月3日までに計26万2千尾の放流が終了し、全県では計110万尾の種苗が放流されます。



★★★スマイル130（いちさんまる）プロジェクトについて_★★★

「130万人誰もが笑顔に」をスローガンに掲げ、「県民の笑顔のために」、「感謝の笑顔（県外、世界に）届ける」を活動のコンセプトとし、復興に取り組む職員の間を盛り上げ、復興に向けた県民と一体感のある取組を展開し、岩手のあるべき未来に追いつく復興を推進する取組みです。

2 水産施設等の復旧・魚市場の水揚げ状況

(1) 共同利用施設等の整備状況

漁協や各漁業者、水産加工業者などが共同で利用する施設の整備を支援しています。
令和2年度に陸前高田市管内で漁船上架施設1件の整備が予定されています。

(2) 大船渡市魚市場の水揚げ状況（1月1日から6月末までの累計）

令和2年		令和元年		震災前 (H20～H22の平均)		前年比 (R2/R1)		震災前(H20～ H22の平均)との 対比	
数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(ト)	金額(千円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
10,372	1,024,139	13,667	1,186,060	11,436	1,138,580	76	86	91	90

出典：いわて大漁ナビ

令和2年1月から6月までの大船渡市魚市場の水揚量は10,372トンで、前年度の76%、震災前の91%でした。主な水揚げ魚種は、マイワシ(6,051トン、3億5千5百万円)、サバ類(2,171トン、2億2千2百万円)、イサダ(605トン、6千百万円)などでした。なお、前年度より水揚げ量が減少した理由は、サバ類とイサダがそれぞれ前年比の49%、11%しか漁獲されなかったことに影響されています。



さっちゃんNEWS part2

<秋サケの回帰予報について>

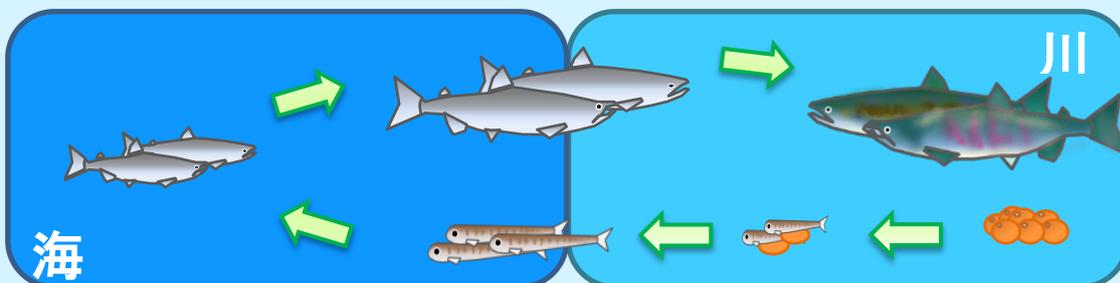
令和2年7月27日に県水産技術センターから令和2年度岩手県秋サケ回帰予報が発表されました。

令和2年9月～令和3年2月にかけての予測尾数（範囲）は195万尾（117～344万尾）で重量（範囲）は6,158トン（3,601～11,178トン）です。

これは令和元年度実績の2.5倍となりますが、震災前5ヶ年平均の23%と依然として低い水準となる見込みです。

～サケの生活史について～

サケは9～12月に海から川に上り、産卵を行います。約2ヶ月でふ化し、ふ化後は卵黄吸収するまでの約2ヶ月を川で過ごしその後海へ下ります。海で3～4年かけて成長し、川に戻ってきて産卵します。



「さけの子さっちゃん」は、大船渡水産振興センターのPRキャラクターです！



『復興板』に関するお問い合わせ先
沿岸広域振興局水産部
大船渡水産振興センター〔担当 玉山〕
岩手県大船渡市猪川町字前田6-1合同庁舎4階
TEL:0192-27-9915 FAX:0192-21-1229